

一、退職手当の即時制定
 元年二回賞與の出せ。
 二、慰安會場職工送還職長シキメ口
 三、職工長送還職工送還率ニシ口
 三、脱衣場シ作レ
 三、浴場シ拡張シ口
 三、飯場ニ茶ヲ出セ
 三、皆勤賞ハ三日分ヨコセ
 三、二年二回定期昇給制定
 三、火夫ハ三美代ニシ口
 三、休憩時 間シ晝一時間、午後三時十五分ニシ口
 右条件ヲ要求ス也

後業 頁一同

鶴飼時ニ殿

6.3.17
222

秘第八・九第



昭和六年三月七日



警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達 謙藏 殿

社會局長 吉田 茂 殿

各廳 府 縣 長 官 殿 湯淺 幸一郎 大臣 秘書 長 吉田 茂 殿

鶴飼硝子工場労働争議ニ関スル件

「日本化基」 第二卷 解決

要旨 工場主取引先 調停ニヨリ三月三日解決シテ

標記労働争議ニ関シテハ既報ノ如キニ後 諸停者ニヨリ